

2012年度 第2回女性学講演会開催のお知らせ

マリー・キュリーのキャリアに見る ジェンダーと科学の問題

日時：2012年9月22日（土）

午後1時30分～午後4時30分

場所：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス

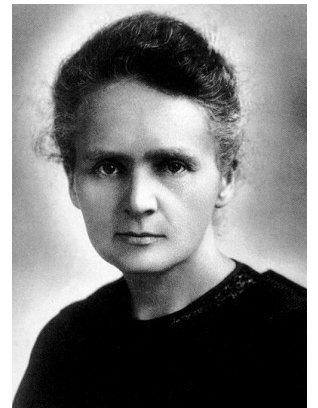
A15棟 101講義室

1時30分～3時

講演：川島 慶子（名古屋工業大学准教授）

マリー・キュリー（1867-1934）とは何者なのか。世界初の近代大学博士号取得女性。世界初のノーベル賞受賞女性。そして世界初の二度のノーベル賞受賞「人間」。マリー・キュリーの人生には「世界初」という言葉がつきまとう。いかなる異論の余地もなく、彼女は「科学者」という言葉が誕生して後に、世界的な認知を得た最初の女性科学者である。

なぜ科学者マリー・キュリーは世界中でこんなにも有名なのか。じつはこの名声の裏には、放射能の不思議な性質と共に、ジェンダーや民族にまつわる、文化的、社会的要素が存在している。本講演は、19世紀末から20世紀初頭のヨーロッパで「科学者という専門職につき、自分の力で生計を立てた」一人の女性としてのマリー・キュリーに着目し、科学という彼女の進路選択が、当時の社会においてどのような意味を持っていたのかを明らかにする試みである。



3時15分～3時45分

コメントおよび講演者との質疑応答

コメンテーター：柳 日馨（本学大学院理学系研究科教授）

3時45分～4時30分：自由討論

コーディネーター：村田 京子（女性学研究センター副センター長）

対象・定員：本学学生・院生・教職員および一般府民 60名

参加費：資料代 500円（本学学生・院生・教職員は無料）

申込方法：氏名（ふりがな）、住所、電話番号を記してEメールまたはFAXでお申し込みください。

*お申し込みの際の個人情報、本講座の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

申込先：大阪府立大学女性学研究センター

Eメール：joseigaku@gmail.com FAX：072-254-9947

当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

問合せ先：大阪府立大学女性学研究センター 〒599-8531 堺市中区学園町1-1 TEL：072-254-9948

交通アクセス、キャンパス地図は <http://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/nakamozu.html> をご参照ください。